

2

案内誘導サインシステム

2-1 案内誘導サインシステムの考え方

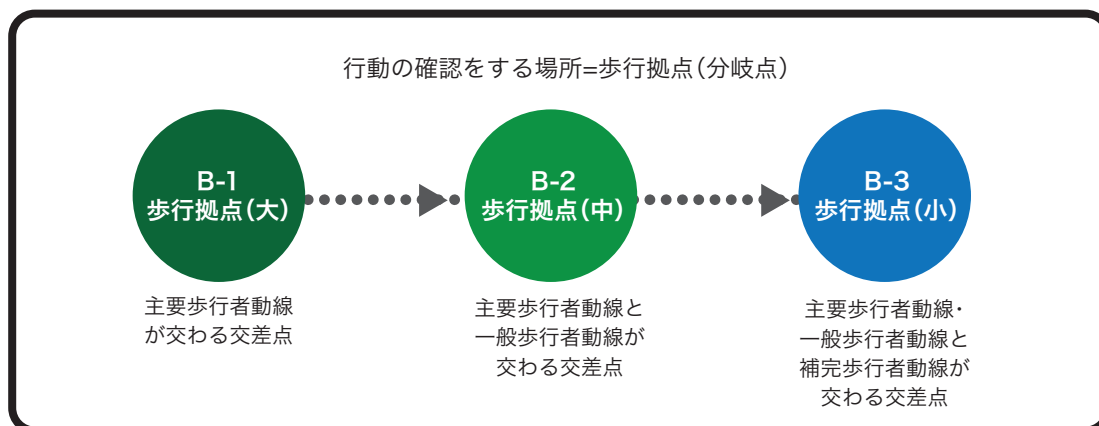
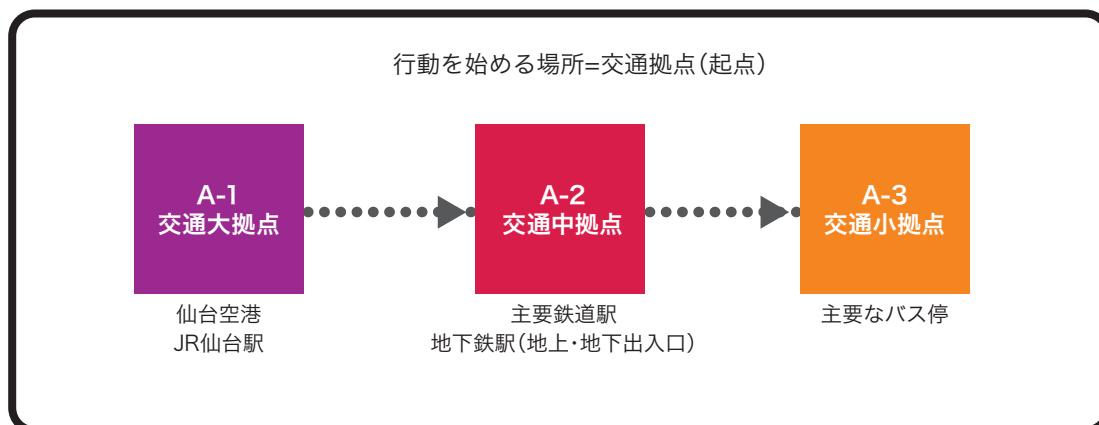
2-2 情報拠点と情報提供

2-3 案内誘導サインシステムのモデル

2-1 案内誘導サインシステムの考え方

仙台駅をはじめとする鉄道や地下鉄の駅などが、目的地へ向かう行動の出発点(起点)となる。特にJR仙台駅については重要な場所である。また、起点から目的地へ向かうにあたり、交差点を経由する場合、あるいは単純な経路であっても目的地が遠方である場合などには、現在どこにいるのか、目的地へ正しく向かっているか、確認を分岐点で行う。

これらの起点・分岐点をあわせて「情報拠点」と呼ぶ。さらに、情報拠点をその重要度に合わせて「階層配置」することにより、移動の動線に沿った効果的な情報提供の仕組みを考えることができる。



■主要歩行者動線

回遊のための主要な移動ルートとなる道路。(例) 定禅寺通、広瀬通、青葉通、東二番丁通り、アーケード街(東一番丁通り等)、宮城野通 など

■一般歩行者動線

主要歩行者動線に次いで、主要な移動ルートとなる道路。(例) 駅前通、愛宕上杉通、晩翠通、西公園通、北目町通、五橋通、南町通 など

■補完歩行者動線

主要歩行者動線と一般歩行者動線以外で、特徴的な通りや観光資源等を結ぶ道路など

2-2

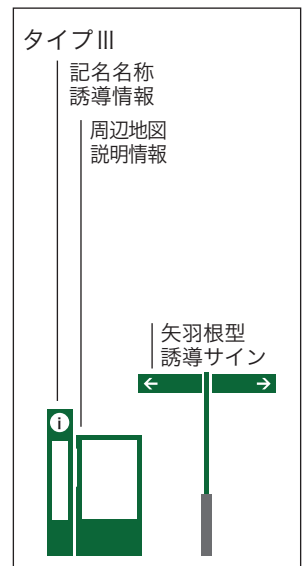
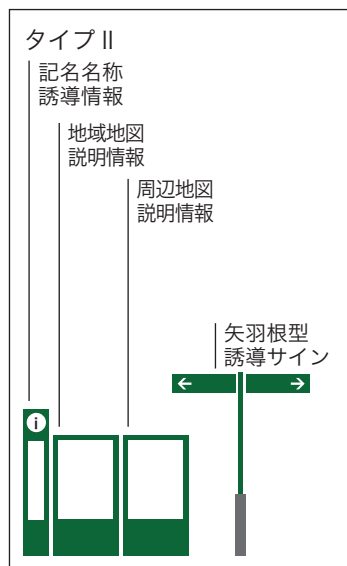
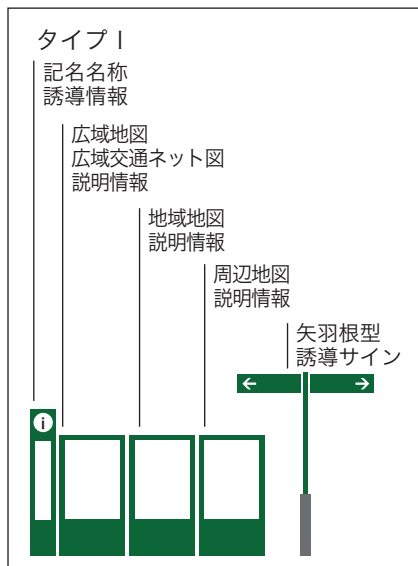
2-2 情報拠点と情報提供

それぞれの拠点において必要となる情報を整理することにより、その情報を表示するための基本サインを、種別化(下図タイプⅠ～Ⅲ)

して整理する。なお、周辺の状況変化等による、さまざまな影響要因を考慮し、基本サイン以外のサインの組み合わせも検討する。

| | 案内情報 (地図の種類) | 誘導情報 | 記名情報 | 解説情報 | 歩行者系案内誘導サイン のタイプ | 通り地図 サイン | 矢羽根型 誘導サイン |
|----------------|--------------------------------|--------------------------|--------------|-----------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| A-1 交通大拠点 | 広域地図 交通ネット図 地域地図 周辺地図 | ● 誘導表示による誘導対象施設(掲載基準を参照) | 地点名称 | ● ランドマーク対象施設(掲載基準を参照) | タイプⅠ | ● 周辺の状況に応じて設置を検討する。 | ● 周辺の状況に応じて設置を検討する。 |
| A-2 交通中拠点 | 地域地図 周辺地図 | | 地点名称 通り名称 | | タイプⅡ | | |
| A-3 交通小拠点 | 周辺地図 | | 地点名称 通り名称 | | タイプⅢ | | |
| B-1 歩行拠点(大) | 地域地図 周辺地図 | ● 誘導表示による誘導対象施設(掲載基準を参照) | 地点名称 通り名称 | ● 周辺の状況に応じて設置を検討する。 | タイプⅡ | ● 周辺の状況に応じて設置を検討する。 | ● 周辺の状況に応じて設置を検討する。 |
| B-2 歩行拠点(中) | 周辺地図 | | 地点名称 通り名称 | | タイプⅢ | | |
| B-3 歩行拠点(小) | | | | | | | |
| | | - | - | - | - | | |

周辺の状況に応じた地図の種類を検討する。



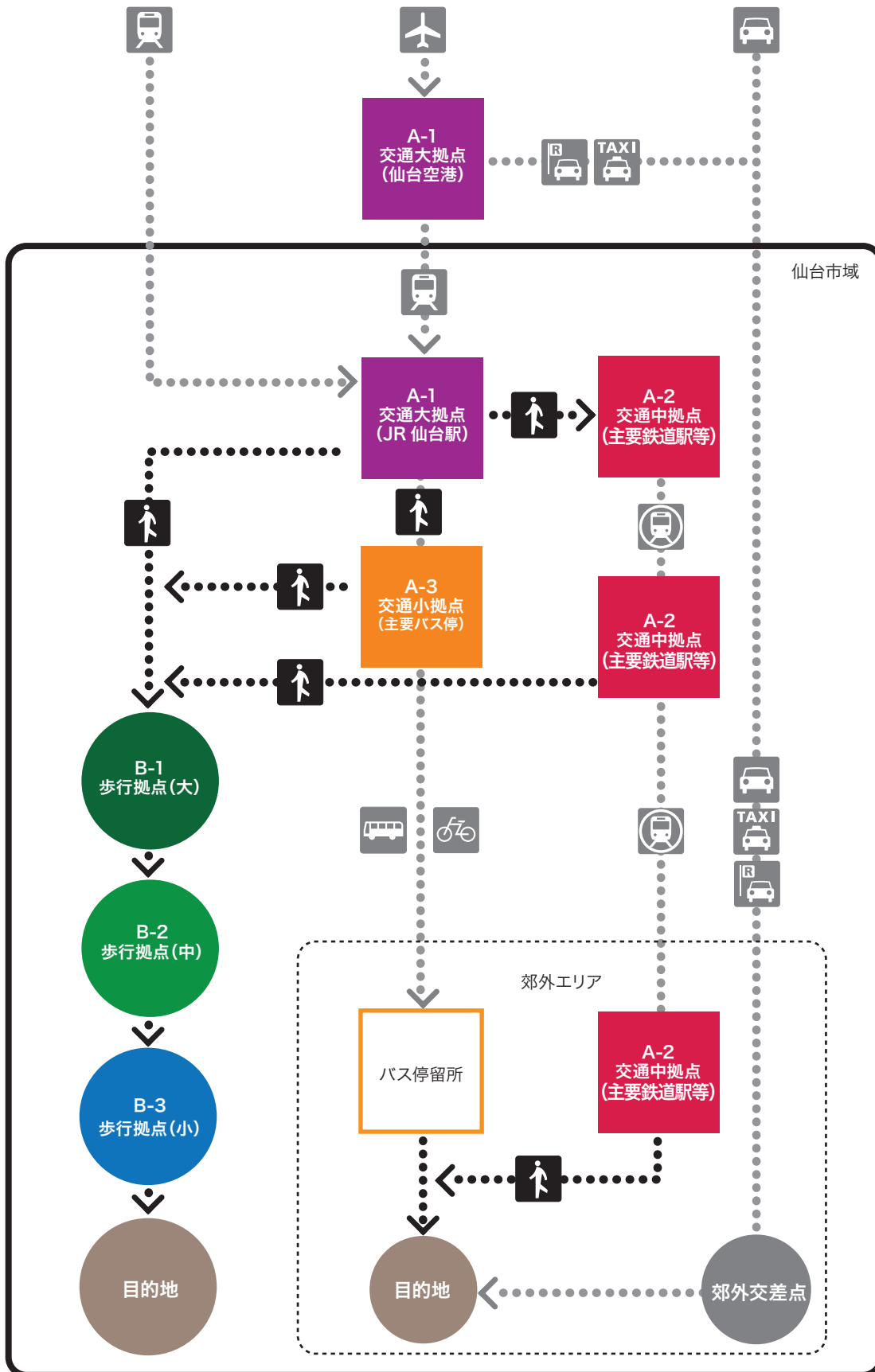
*タイプⅠ、タイプⅡの説明情報は周辺地図範囲→地域地図範囲→広域地図範囲の順に重複しないように掲載する。

2-3 案内誘導サインシステムのモデル

2-3

01 情報拠点のモデル

仙台駅を始点とした情報拠点の設定全体像は以下ようになる。



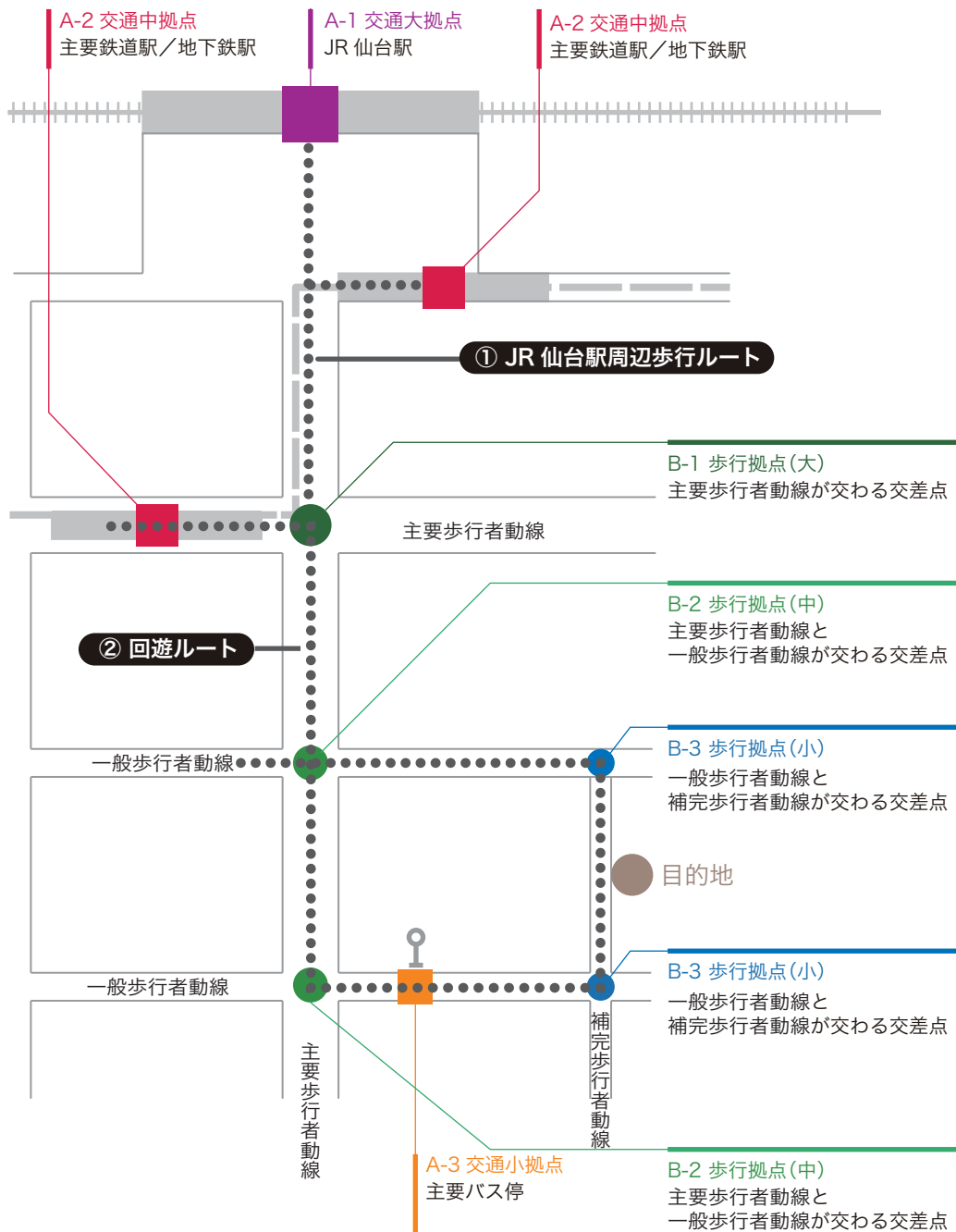
案内誘導サインシステムのモデル

2-3

02 仙台市中心部における 情報拠点の配置モデル

各情報拠点において必要となる情報およびサインについて、模式的に考えるため、仙台市中心部における歩行拠点モデルとして、2種類のルートを設定する。

- ① JR 仙台駅を起点とした歩行ルート
- ② 地下鉄駅を起点とした市内回遊ルート



■主要歩行者動線

回遊のための主要な移動ルートとなる道路。
(例) 定禅寺通、広瀬通、青葉通、東二番丁通り、アーケード街(東一番丁通り等)、宮城野通 など

■一般歩行者動線

主要歩行者動線に次いで、主要な移動ルートとなる道路。(例) 駅前通、愛宕上杉通、晩翠通、西公園通、北目町通、五橋通、南町通 など

■補完歩行者動線

主要歩行者動線と一般歩行者動線以外で、特徴的な通りや観光資源等を結ぶ道路など

① J R 仙台駅を起点とした歩行ルート上における拠点と、そこで必要とされる情報の種類、その表示方法の概要を整理する。

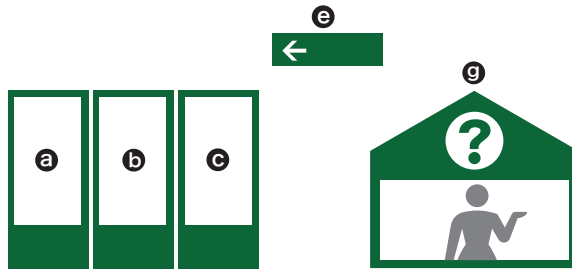
① JR 仙台駅周辺歩行ルート



A-1 交通大拠点

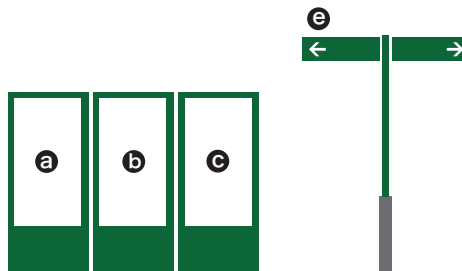
JR 仙台駅構内

- a** 広域地図
+ 広域交通ネット図
- b** 地域地図
- c** 周辺地図
- e** 交通施設の方向
- g** さまざまな疑問の確認 (案内所)



ペDESTリアンデッキ 駅前広場

- a** 広域地図
+ 広域交通ネット図
- b** 地域地図
- c** 周辺地図
- e** 交通施設の方向



※ペDESTリアンデッキ、駅前広場等は、必要な情報を得る上で非常に重要な場所となる。

ルート上

- e** 交通施設の方向



A-2 交通中拠点へ

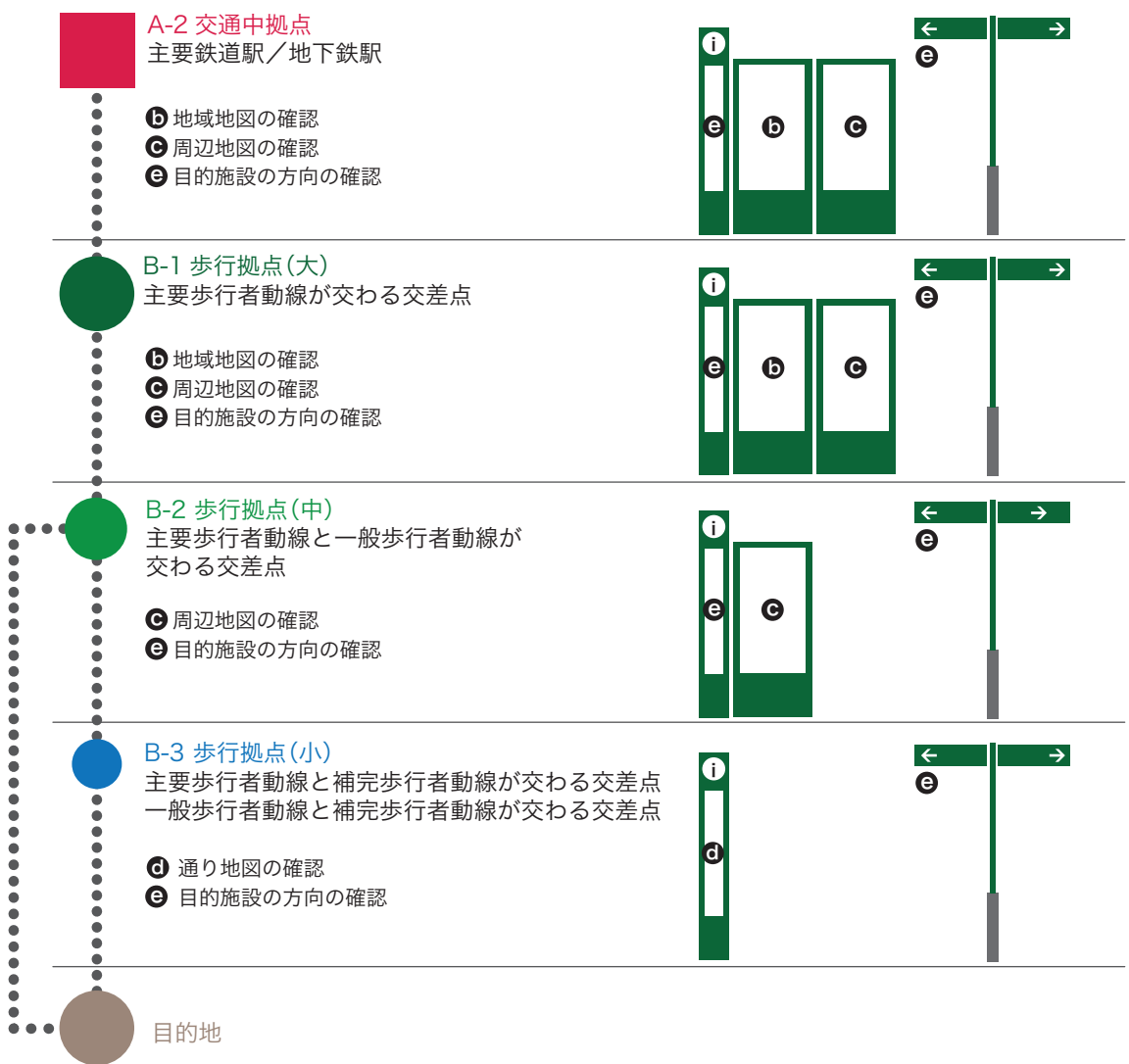


目的地

2-3

②地下鉄駅を起点とした市内回遊ルート上における拠点、そこで必要とされる情報の種類、その表示方法の概要を整理する。
①②のような想定を行うことにより、情報の連続性を考慮した、効果的なサインの配置計画を考えることができる。

② 回遊ルート



03 仙台市中心部における情報拠点の配置計画

仙台市中心部の主要な動線などを基本動線とした情報拠点の配置計画を以下に示す。具体的な整備計画においては、周辺状況や設置バランス等を考慮して整備を進める必要がある。



拠点凡例

- 交通大拠点
- 交通中拠点
- 交通小拠点
- 歩行拠点 (大)
- 歩行拠点 (中)
- 歩行拠点 (小)

道路種別区分凡例

- 主要歩行者動線
 - 一般歩行者動線
 - 補完歩行者動線
- 主要歩行者動線**
 回遊のための主要な移動ルートとなる道路。
 (例) 定禅寺通、広瀬通、青葉通、東二番丁通り、アーケード街(東一番丁通り等)、宮城野通 など
- 一般歩行者動線**
 主要歩行者動線に次いで、主要な移動ルートとなる道路。(例) 駅前通、愛宕上杉通、晩翠通、西公園通、北目町通、五橋通、南町通 など
- 補完歩行者動線**
 主要歩行者動線と一般歩行者動線以外で、特徴的な通りや観光資源等を結ぶ道路など